

CiDER SYMPOSIUM

感染症危機の未来予想図

―国と地域、臨床と研究を結ぶ『次世代へのセーフティネット』

次の感染症危機に備えるために、
行政・医療機関・研究機関が連携し、
臨床研究を進める仕組みと、人材育成のあり方を
多角的に議論します。

2027.
1.15 金
13：00〜16：30

大阪大学・日本財団
感染症センター 1F 大ホール
（大阪大学 吹田キャンパス）

会場　先着 100名
オンライン　先着 500名
ハイブリッド形式（対面とオンライン配信（Zoom）を併用）

参加費 無料

参加申込み >

申込締切 2027.01.07（木）

右図QRコード、または下記URLよりご確認ください。
https://www.cider.osaka-u.ac.jp/news/cider_symposium_2026/

プログラム PROGRAM

第一部 JIHSとCiDER ｜ 13：05〜14：00

特別講演 大曲 貴夫
国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 感染症臨床政策部部長
国立国際医療センター 副院長・国際感染症センター長

講演 船木 孝則
大阪大学感染症総合教育研究拠点 企画室長
国立健康危機管理研究機構 危機管理参事

第二部 大阪府内における感染症の連携強化 ｜ 14：10〜16：20

講演1 倭 正也
りんくう総合医療センター 総合内科・感染症内科主任部長 兼
感染症センター長

講演2 濱口 重人
大阪健康安全基盤研究所 健康危機管理監

講演3 柴田 敏之
大阪府健康医療部保健医療室 副理事

講演4 忽那 賢志
大阪大学感染症総合教育研究拠点 人材育成部門副部門長
大阪大学医学部附属病院 感染制御部長

パネルディスカッション ｜ 15：50〜16：20

「次のパンデミックに、私たちはどう備えるか－臨床研究を進める仕組みと人材育成－」

行政・研究機関・医療機関の連携を通じた研究基盤の整備や検体・データの共有、診療と研究を両立できる環境づくり、多職種のキャリア形成と育成のあり方を考えます。

【主催】大阪大学感染症総合教育研究拠点（CiDER）
【共催】大阪府、大阪健康安全基盤研究所、国立健康危機管理研究機構（JIHS）、大阪府医師会、大阪大学医学部附属病院
大阪大学先端モダリティ・DDS研究センター（CAMaD）
【後援】大阪市
【協力】大阪公立大学大阪国際感染症研究センター（OIRCID）